

令和2年 8月の思いやり通信



洋上風力 30カ所に拡大へ 発電量、原発10基分に 再生エネ投資環境整備 今後10年、年3~4件を認定

- *民間投資を活用した洋上風力発電の建設が加速。
- *経済産業省、国土交通省は、今後10年で全国30カ所への拡大を目指します。
- *年間3~4件を事業認定。
- *2021年度から2030年度にかけ、毎年100万キロワット程度の洋上風力発電の整備を進め、合計で概ね原発10基分に相当する1000万キロワットにまで増やす目標。
- *現在、洋上風力発電所は全国に4カ所。合計発電容量は100万キロワット超。
- *四方を海に囲まれる日本は洋上風力の導入余地が大きいとされ、数千万キロワット分の導入が可能とする民間試算も。
- *現状で稼働しているのは2万キロワット。
- *政府の長期計画では、2030年度の再生エネの構成比率を全体の22~24%と見込んでいます。2018年度の実績は17%。

(2020年7月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



エコライフ - 建具を考える時に注意すること 収納

- *収納スペースは湿気や臭いがこもりやすく、結露しやすいイメージですが、それは居室とは完全に隔離された環境になっていることが多いのが原因です。
- *収納スペースは家の外周部に位置し、外壁を1枚隔てて外という環境にあることが多いので、収納部の断熱性能が低いと熱が逃げて中の温度が低下すると冬に結露が起きます。
- *クローゼットや押入れといった収納スペースは、断熱性能を向上させることで結露のリスクが大幅に低下します。
- *空気が巡るように換気計画を立てることも大切です。
- *空気を動かして湿気をできるだけ1か所に集中させないように、押入れの下にすのこを引くのもおすすめ。

(高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)